

鄂上語金子全集

第Ⅱ期

第二十六卷

書簡 3

鄂上學



第Ⅱ期

第二十六卷

岩波書店

野上彌生子全集

第II期 第二十六卷

第二十八回配本

(全二十九卷)

一九九一年三月二七日 発行

定価四一〇〇円
(本体三九八一円)

著 者 野 上 彌 生 子
の が み や え こ

発 行 者 安 江 良 介

〒101-02 東京都千代田区一ツ橋二五五
発 行 所 株式会社 岩 波 書 店

電話 〇三三五四二(案内)

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします

目 次

昭和三十四年	一
昭和三十五年	三
昭和三十六年	五
昭和三十七年	一九
昭和三十八年	一四
昭和三十九年	一七
昭和四十年	三三
昭和四十一年	三五
昭和四十二年	三六
昭和四十三年	三七

昭和四十四年	三九
昭和四十五年	四六
後 記	四九
書簡索引	四九

昭和三十四年（一九五九）

牧瀬 恒二

菊 枝

新宿区百人町四ノ四五〇ノ170
一月一日〔葉書〕

牧瀬恒二様

菊枝様

暁子様

九二

暁 子

〔印刷年賀状三〕

やつと下山いたしました。またいつかお出かけ下さい

河野 与一

多 麻

武蔵野市吉祥寺二九一一 河野与一様 多麻様
一月八日 世田谷区成城町二〇 野上やへ〔葉書〕

九三

よい御正月をなされて、御目出度う存じました。私はまた思ひきりぶしように月を致してをります、昨年のやうに一度松の内に御いで頂き度いと存じましたが、うつほが二月ごろには御手あきのとこと、私もそのころはなにか一つ書きあげてもをりませうかと存じますので、その時分まで延期致した方がよささうに存じられ、わざと御声もかけませんでした。もう御帰宅と存じますが、そんな次第故、どうぞいはゆる正月の訪問なんて御考へ下さらないやうに御願ひいたします。

鞆や尾の道の御酒のあとでは、ウスキの地酒などとてもめしあがれないでせうが、一本御送りいたすやうに申つけておきました。寒夜の寢酒にでも役だてゝ下されば有りがたう存じます。

明夜はまたツンボの「桜の園」見物をいたします。どうかと我ながら首が傾けられますが、しかしもうモスクワまでは見物にも参れますまいから。

山雀の御みくじ御二人のはなんとでましたか、まさかまだ月ロケット旅行吉なんてことはなかったでせう。

牧瀬菊枝

新宿区百人町四ノ四五〇ノ一七〇 牧瀬菊枝様
一月十三日（消印十四日） 世田谷区成城町20 野上弥生子 〔葉書〕

九三

先日は一年ぶりにいらして下さつたのに、おそうそう様でした。帰りにおナカおすきになつたと思ひます。なにかちよつとしたものでもあげるとよかつた、と後悔したのですが、台所係りがまだ不馴れなので……それに私前夜の「桜の園」でひどく疲れてゐたものですから……御許し下さい。それから婦人公論の巻頭言、ほしいのは昭和三十年の九月から三十一年桑原氏にかはるまでのものです。ちつとも急ぎませんので、栗田さんのところにでもあるなら調べて下さると有りがたいと思ひます。あなた方がしばしば接する若い女のひと達のこと、もつという／＼聞き度いし、また指導の方法についても教はり度いとおもひます。これは中々重大な事で、カンタンに考へてはならない問題だと私は信じますよ。牧瀬さんにもよろしく。

吉野源三郎

文京区曙町二十番地 吉野源三郎様
一月十三日(消印十四日) 世田谷区成城町二〇 野上弥生子 [葉書]

九六四

拝復 先夜は私こそ御かげ様にてよい場所で御いつしよに見物されまして、有りがたく御礼申あげます。ホンモノの素破らしさ、貴重さ、見事にたいする感動はまだ失せません。これは劇にはかぎらず、文学、芸術一般、または人間存在にも共通的で、今度の芸術座がかくまで私たちを把むのは、日本の今日あまりにウソモノが溢れてゐる為かとも存じられます。みかん皆さままでめしあがつて下さいませ。私の町から三里の津組といふのが、産出はそれほど多くはありませんが昔からみかんの名所です。しかし平凡なもの故御目にかける気もしませんでしたが、坊ちゃんがおすきと伺つて、ためしに送りました次第でした。今年は日本にも世界各国にも、いろ／＼と変化が生じさうにおもはれます。御健康に御活動を念じあげます。御奥様へもどうぞよろしく。

藤田圭雄

練馬区南町二ノ五九一三 藤田圭雄様 侍史
一月二十二日(消印二十三日) 世田谷区成城町二〇 野上弥生子

九六五

寸啓

厳しい御寒さがつゞきますが御健勝にゐらせられます御事と存じます。私ももぐらもちのやうに家にとちこもつてをります為か風邪もひかず丈夫にいたしをります。

さて兎のラバットいつでも御渡しできるやうにいたしてありますので、宝文館の方へ御れんらく

頂き度く存じます。今度はなにもかも御手数を御かけ致す事に相なりまして申わけなく存じます。御許し下され度く、いづれ拝眉にて万こと存じます。

御老母様へも御奥様へもなにとぞよろしく御願ひ申し上げます。おそろひにて御大切に念じあげます。

一月二十二日

野上弥生子

藤田圭雄様

表

章

葛飾区青戸町一公団住宅一一三〇号 表章様 願用
一月二十四日(消印二十五日) 世田谷区成城町二〇 野上弥生子

九六

寸啓

厳しい御寒さがつゞいてをりますが、御健勝に相変らず御研究に精進の御事と拝察いたします。さて突然でございますが、豊太閤と能について少々御教示をえ度く、左記について御しらせ頂けませんか。

(1) 秀吉の能修業は年代的にいつ頃か。

(2) 誰がおもに教へたか、金春大夫―大大夫がひいきであつたといふのは真実であらうか。たしか村松新九郎の名前も記憶にあります……

(3) 「山崎合戦」を新作させ、秀吉シテ、家康ワキで舞つたといふのは記録的に残つてゐる事実か。

(4) 宮中で能を催うして、自分が舞つたといふのも事実であらうか。また舞つたとすれば年代はいつ

か。

(5)秀吉の能執心は、千利休の自刃後であつたといふのは、年代的に正しいか。

以上のやうな事が知り度いわけでございます。御多用中にまことに恐縮ですが御しらべ下さいますならば有りがたう存じます。

とりあえず願用まで。時分がらくれ、御大事に念じます。

一月二十四日

野上弥生子

表章様

唐木順三

神奈川県高座郡大和町南林(間)第十条 唐木順三様
一月二十五日 世田谷区成城町20 野上弥生子

九七

寸啓

もうそろ／＼学校で御多用と存じます。

さて先日御送り頂きました圓悟禪師墨蹟のシャシンを先生に御見せいたしましたら、封入のものゝ如くちゃんと解読され、返り点までつけ下さいましたのにはびっくり致しました。私は分らない事はなんでも先生に御たづねするのが数年来のくせになつてをり、また先生は漢文はずいぶんよく御読みになる事は存じてゐましたが、かうまで整然と解読されようとは実は考へてゐなかつたのでして、今更にあタマが下り、また些かでもこれがすつかり御読めになるかなんておもつたのを恥ぢてをります。おかげでやつとこの一文の意味も迎れます次第ですが、しかしこれは一休より珠光へ、

それから利休への墨蹟とは違ふわけでございますね。あれは島津家の所有になつてゐる由で、これは博物館にあるのですから。どちらにいたしましたにしてもこのシャシン版はそのままでは茶道全集を欠本にいたしますこと故御返し申上げます。それに私も茶道全集を入手いたしましたから。しかし先生の解説文の方は御返却頂き度く存じます。

利休しらかけるといふ新しい事が出て参ります。彼の朝鮮出兵否定論の底には、福岡、堺の対外貿易の相反する利害もんだいなども絡んでゐさうなのでございます。これはいづれ拝眉の節のおしやべりに残しませう。

「声」のキリシタンの問題拝見いたしました。私はスペイン旅行でロヨラの本山を訪ねましたので、その時のことなどいろ／＼おもひ出されました事でした。この本山はちよつと奈良の郊外といったもの静かな盆地にあります。様式はバロックのしつこい装飾超過、その上なにもかも黄金づくめといふ次第です。ロヨラの旧邸も保存され、そこで彼が大悟したといふ部屋には、白銀の鎧をきた等身大の騎士姿のロヨラが負傷して倒れてゐるのを、これは黄金の二人の小天使が介抱してゐます。これらはもとよりロヨラ上人自らには関係のない事です、一方のそれはペルジアの戦ひの負傷が回心の契機となつたサン・フランツエスコのアシジの御寺の感じとはすつかり違つたもので、デズイットの貴族趣味を忍ばせません。ザビエルの生れた土地は、このロヨラの後の山のすぐ向側との事で、その旧邸の一つの部屋には、他の弟子たちとの群像とともにザビエルの姿が見られますが、筋骨逞ましい荒法師といった恰好です。遠い蛮域の布教にはこのくらゐ強健な肉体を必要とするかと考へられました。しかし私は何故こんな事を長つたらしく書く氣になつたでせう。それはデ

エズイットの政治性がザビエルの手紙にあまりはつきり現はれてゐるので、サン・フランツエスコと似た意味で聖人と呼ばれるかどうかのうたがひをもつからです。

先刻北軽の安東氏よりデンワで、今日これから大島さんを訪ね、明日はカマクラの市役所に行つて、先生の長野原町転籍の手つゞきを致すとの事でした。序ながら申添えます。

大寒に入つて却つて御寒さもゆるみましたやうで、明け方など小鳥のこゑがなにか春告げ鳥めいてきこえます。林間の自然も春遠からじの趣かと存じます。

奥様御風邪もめさないで御元気でございませうか。なにとぞよろしく御願ひ申あげ度く、おそろひにて御大切にどうぞ

一月二十五日

野上弥生子

唐木順三様

表

章

葛飾区青戸町一公団住宅一、三〇五号 表章様 御礼
二月一日 世田谷区成城町20 野上弥生子

九六

拝復

御多忙の中に、今日は早速御返事を頂きまことに有りがたく深く御礼申あげます。じつは利休と秀吉とを取材としての作品におもひを致してをります為、あゝした御願ひをいたしました次第で、秀吉の能についてのことは、御教示にて十分で、大助かりいたしました。且つ結句はフィクションになり自由なとり扱ひをいたしますので、あれ以上は必要ないかと存じますが、今後ともまたなにか

と御力添え頂き度く存じます。

「能楽思潮」は頂戴いたしてよろしうございませうか。もし残本がございましたのでしたら、御頒ち頂き度く存じます。いろ／＼有益な研究が発表されますやうで、もう少し私に時間があると御仲間入りいたし度いのですが、だん／＼余力がなくなりました、自分の机仕事だけで精いつぱいといふ有様でございます。申学談儀と御とりくみとのこと、屹度立派なものが御できになります事と今より期待いたしてをります。実は能楽についての古い書物が納戸の奥に見いだされ、別に珍しいものではないであらうと存じますが、このまゝしみの餌食にするのもどうかと存じられますので、春休みにでもおなりになりましたら一度御らん下され、研究所におけるやうなものがあればさしあげ度く存じます。

とりあえず御礼まで申あげます。

御奥様もおふたりのママさんでは大骨をりかと存じ、御たのしみの中にもいろ／＼御心づかひのほど拝察いたされます。なにとぞ御そろひにて御健勝に願ひあげます。

二月一日

野上弥生子

表章様

野上 静

京都市左京区田中東樋ノ口町五六 野上静様
二月十一日 東京都世田谷区成城町二〇 野上弥生子

九九

静ちゃん、この間は細々の御手紙をうれしく拝見。静ちゃんはまことに上手に旅行を描いてくれた

ので、臼杵訪問の様子がよく分かりました。ごた／＼と落ちつきのない家ですが、それでもみんな心から歓迎したのは疑ひのないところ、行つてくれてよかつたと思ひます。しかしボーナスをすつかりはたいて、後がだいぶ耐乏生活かと案じてゐます。どうにか切りぬけられますか。一家で旅行といふのは一般の生活水準では、望んでも中と実行されにくいものです。しかし青島は私もまだ知らない有様で、なに事も機会だとおもひ、よくこそ日向まで伸したと悦んでをります。

S はもう帰つてまたつねの生活に帰つたでせうが、それにつき一つ静ちゃんに相談があります。S の肥満には、そろ／＼食生活の変更を考へなければならぬのではないでせうか。京都はサカナなまづいとので、そのため自然肉が多くなると考へますが、これをなりたけ制約するわけには行かないでせうか。家庭で別々の食事をこしらへるのは大変とは思ひますが、なりたけ植物質のものを多くし、淡泊なものを摂取する事を試みてくれませんか。この事は S には話しました。晩食もあり多く米をとらず、おとうふだの大根だの、そんな野菜をとるやうにして下さい。營養不良には決してなりません。お父さんは別に肥つた方ではありませんでしたが、五十近くから食事に用心してゐたら屹度あんな事にはならず、もう少しは無事にしてゐたらうと今にして残念ですから、S にもさうして貰ひ度いのです。美食と過食が結局は生理的には毒になる事は、いまは医学の証明するところです。これは台所にはメンドウなわけですから、あなたが一つ旨くやつて下さい。

私は用心して生活してゐますから、別に異状なく暮らしてをり、このごろはつぎ／＼机仕事に専念してをります。

れい子ちゃんも今ごろは試験でせう。この間ハイカラなシャボンを買つたので、和と三千子に、

それからい子ちゃんに分けたのにSが持つて帰るのを忘れたので送ります。

東京はずつと春らしい毎日で、京都もそろ／＼春げしきとおもひます。なに事にも無理しないで、みんな元気でゐて下さい。

二月十一日

母さんから

静ちゃん

川上喜久子

鎌倉市浄明寺宅間谷 川上喜久子様
三月五日 東京都世田谷区成城町 野上弥生子〔葉書〕

1000

御便り有りがたく頂きました。御ねんごろの御言葉をうれしく存じます。生活がセイリおできになりましたやうで、あなた方はまだこれから十分時間があります事故、新しく悠々となされ度く念じられます。もう少し長い御返事が書き度いのですが、めづらしく腸をわるくいたし、数日絶食のあとやつとおきあがりましたが、まだフラフラで文字もあやしくほんの一筆御礼まで。

春寒どうぞ御大切に。

脇 昭子

京都市左京区下鴨南芝町十九 脇昭子様
(消印四月十三日) 東京都世田谷区成城町20 野上弥生子〔葉書〕

1001

拝復 先日は御氣忙しい中を御親切に御立ちより下すつてうれしく存じました。あの通りの有様で、まるで子供会にひつ張りだしたやうな始末となり、御許し下さいまし。この二三日朝日ジャーナル

のものを書いたりで過してをります。高浜さんも終に御亡くなりで、十七日はまた喪服で外出です。帰京中はこんな悲しい事にしばしば逢ひますが、六月にはまた山の生活に戻ります。この夏は軽井沢には見えられません。まだ小寒い日が続きます。御大切に。脇さんにもよろしく。

大内兵衛

鎌倉市極楽寺山上 大内兵衛様 侍史
四月十九日 東京都世田谷区成城町二〇 野上弥生子

1001

寸啓

すでに鎌倉にて悠々自適の朝夕を御たのしみの御事と拝察いたします。さて先日は御門多き中をわざと御光来頂き、いつもながら逆までと、申わけなく存じてをりましたところへ、一昨日はまた御奥様御たづね下され、そのうへおクルマまで拝借致し御かげで大助かりいたしました。誠に重ね々々の御芳志、たゞ有りがたく涙するのみでございます。

法政の九年は、今にして考へますにつれなんといふ御迷惑を御かけ申した事かと存じられ、この度の御引退にて書斎の生活に御戻りになられましたのは、御健康の為のみならず、学界にとつても有意義なわけとは十分考へてはをります。しかもなほ私はもう一度、もうしばらくあのまゝでの願ひを禁ずる事が出来ないのは、よく諦めがわるいのでございませう。御叱り頂き度く存じられます。またこれは御奥様にもちよつと御耳に御いれ致しておきましたが、生麦の女学校の方の私の名まへをこの際御とり消し頂き度く存じまして、有沢総長あてに辞職願ひのやうなものを御送り申あげておきましたので、もし御序でもございましたらばよろしく御とりなしのほどを御願ひ申あげま

す。

なにもく鎌倉へ御伺ひ申あげましてと存じますが、とりあえずとりあつめての御礼を申あげさして頂きます。

久々での御閑暇を松風濤声のうちに御過しの御様子がなにか詩的に想像いたされます。なにとぞ御奥様へもよろしく御願ひ申上げます。

四月十九日

野上弥生子

大内先生 侍史

旅行記への御言葉、これも有りがたく拝読いたしました。中国もチベット問題ではよい教訓をえた事と存じます。とともに、ネールを隣人とするのはこの上なき幸運のやうに存じられます。

布川 きみ

文京区小日向水道町九十二 布川きみ子様 おんもと
五月二日 世田谷区成城町二〇 野上弥生子

10011

拝復

御手紙度と有りがたく頂きました。

御慶事もぶじにおすみにて、御満足とともにほつと一と息ついておいでの事と拝察いたします。あんなに花やかに新しい人生の立送られた御二人は誠に御仕あはせと存じ、またそれだけ責任の重いわけと考へられます。北軽からエハガキの御便りを貰ひました。二日に帰られますとかございましたので、今日は御帰宅でせう。どうぞよろしく御伝へ下さいませ。あの席上での御祝辞によつ

昭和34年(1959)5月

て田島さんがたいそうよい青年であることが証せられましたのは、私にはたいへんうれしうございました。その事をもどうぞ御伝へ下さいませ。

とりあえず御返事申あげ度く、なんと致しましてもあなたが御大役を果されましたので、屹度御疲れと存じます。くれぐれ御大切に、しばらくは御静養の御つもりにて御過しなされ度く念じあげます。

末筆ながら布川さんへもよろしく御願ひいたします。

五月二日

野上やへ

布川きみ子様

御妹さんにも久々にて御目にかゝり御なつかしく存じました。おついでにあちら様へもどうぞよろしく。

岩波雄二郎

文京区かご町218 岩波雄二郎様 侍史
五月十九日 世田谷区成城町20 野上弥生子

100R

寸啓

先日は布川さんの御祝ひの会で久々にてお逢ひいたしましたのに、ゆつくり御話もできないで残念でした。いろいろ御伺ひ度き事、きいて貰ひ度い事がありました。また今度の素一の件では御配慮有りがたく私からも深く御礼申上げます。ローマ大学の方から生活費はでる由、また旅費は文部省から貰へるので、今度は御母様には御めいわくはかけないと申しましたが、やつぱり御店に願ひする